



2017 年度秋季大会実施報告

大会・企画委員会, LOC

秋季大会実施報告 (大会・企画委員会)

2017 年度秋季大会は、鹿児島市のかごしま県民交流センターにおいて、10 月 25 日 (水)～27 日 (金) に開催され、705 名 (会員 598 名, 非会員等 107 名) の参加がありました。プログラム確定後の講演発表数は口頭 256 件 (うち招待講演 8 件), ポスター 197 件の合計 453 件で、このうちポスター発表 1 件がキャンセルされました。そのほかに、日本地震学会賞 1 名, 若手学術奨励賞受賞者 3 名, 技術開発賞 1 団体による記念講演がありました。

今年度の秋季大会では「大地震の発生予測と災害軽減に向けて」と「九州中部のサイスマテクトニクス研究と地震ハザード評価への展開」の 2 件の特別セッションが開催されました。招待講演 8 件を含めて 36 件の口頭発表, 10 件のポスター発表があり, 大変活発な議論がなされました。

昨年度同様, 講演申し込み, 予稿原稿アップロード, 事前参加登録と参加登録料及び投稿料の支払いは, ウェブサイト上で受け付けました。事前参加登録済みかつ年会費納入済みの会員には, 予稿集と共に名札と領収書を事前送付し, 当日は大会受付を通らずに入場できるようにしました。また, 講演予稿集は電子版のみとし, 事前参加登録をして頂いた会員には, 予稿集ダウンロードのための URL とパスワードをプログラム公開時期にあわせて連絡しました。当日は新聞形式の A3 版プログラムを配布いたしました。

今年度は, 大会 1 日目の午後に, 日本地震学会賞, 技術開発賞, 若手学術奨励賞の受賞者による記念講演を設けました。大会 3 日目の昼休みには, EPS 誌の運営・学会の財務経営についての説明会が理事会主催で開催されました。大会 3 日間ともに 4 会場同時並行で口頭発表のセッション (受賞記念講演を除く) を行い, 大会初日と 2 日目の夕方, 3 日目の午前にはポスター発表のコアタイムを設けました。なお, 通常的口頭発表の時間は 1 件あたり 15 分 (講演 12 分, 質疑 3 分) としました。

今年度も, 学生による優れた研究発表を奨励し, 研究発表技術の向上を目的とした「学生優秀発表賞」の審査をしました。口頭発表とポスター発表のどちらも対象です。今年度の審査員には理事, 代議員, 大会・企画委員会委員から 30 名が選出され, のべ 80 件の発表を審査しました。選考結果と受賞者については, 本ニュースレター NL-5-4 ペー

ジに発表されています。

秋季大会の準備, 運営面では, 鹿児島地域の地震学会員からなる LOC の皆様に全面的にお世話になりました。LOC の皆様の献身的なご尽力により, 鹿児島大会が円滑に運営されたことに, 大会・企画委員会から心よりお礼を申し上げます。大会の経費については, 鹿児島観光コンベンション協会の助成を受けています。

さて, 来年度の秋季大会は福島県郡山市のビッグパレットふくしまにおいて, 2018 年 10 月 9 日 (火)～11 日 (木) の日程で開催される予定です。LOC はつくばの皆様にお引き受けいただいています。今年度に引き続き, 会員の皆様の積極的な投稿・参加を期待しております。

最後になりましたが, 各セッションの座長および学生優秀発表賞の審査員をお引き受けくださった皆様のご協力に感謝申し上げます。

LOC からの報告

2001 年以來の鹿児島大会となりました。会場は前回とは異なり, かごしま県民交流センターを利用しました。公共交通機関の便も良く, ホテルの多い繁華街からも歩いて通える距離です。また口頭発表会場・ポスター会場ともに十分な広さもあったため, 参加者の皆さんにはおむね好評だったようです。

例年と違う点として, 今回はインターネットへのアクセス手段を設けなかったことがあります。会場に有線 LAN がひかれておらず, その工事から必要となってしまう費用がかかりすぎてしまうためでした。しかし, あらかじめインターネット・アクセスがないことをお知らせしておいたためか, 特に不満は聞かれませんでした。昨年からの予稿集が電子版になり, ダウンロードする必要がありましたが, 事前にダウンロードされた方が多かったのかもしれない。今の時代, 個人でモバイル WiFi をお持ちの方も多かったと思われる。1 階エントランスホールでのみ常設の無線 LAN があったため, そこを利用された方も多かったようでした。

本大会では, 鹿児島観光コンベンション協会のご支援をいただきました。皆様への参加宿泊者数証明書の依頼が遅くなってしまったことと, その記入欄が分かりにくく混乱を招いたことは反省しております。皆様のご協力のおかげで, 補助金を得られることになりました。また, 玄関の看板や, 受付近くに置いた観光関連パンフレットも鹿児島コンベンション協会による支援でした。記して感謝いたします。

大会期間後に行われた一般公開イベントについては, 開催の様子が広報紙「なみふる」に掲載される予定です。開催内容に関してはそちらをご覧ください。ここに

らでは運営に関することを報告いたします。

午前には鹿児島県立博物館において「地震の教室（親子向け・教員向け）」を開催しました。夏休み中に鹿児島県のすべての小中高にチラシを配布し、周知を図りました。おかげで、教員向けは例年に比べ多い方だったようです。また親子向けについても、チラシを見た教員が児童に声をかけていただいた効果があったようでした。

午後にはかごしま県民交流センターの県民ホールで「一般公開セミナー」を開催しました。こちらに関しては、印刷業者とのコミュニケーションが滞ってチラシ作成が遅れてしまい、十分な広報が行えませんでした。さらに台風が近づいてきており天候が良くなかったことも災いしました。そのため、参加者は70名と例年に比べてもかなり少ない人数となってしまいました。参加者対象のアンケートでも広報不足を指摘されました。ご多忙のところ時間を掛けて準備していただいた講演者の皆様には大変申し訳なく思っております。

他にも細かい点で反省することが多々あるのですが、あまりにも多くて書き切れません。大会・企画委員会でしっかり引き継ぎたいと思います。いたらない点が多かったにも関わらず、大きなトラブルもなく無事に終了したことは、皆様のご協力のおかげです。深く感謝いたします。

大会プログラムの修正（大会・企画委員会）

○発表のキャンセル

S02-P05 深部微動震源決定のための改良エンベロープ相関法の開発と性能評価

水野尚人・井出 哲（東大理）